

市単独事業

令和 8 年度

市道湯郷池岩線交通安全対策工事

設計書

(当初設計)

工 事 番 号

宋建北工第081402号

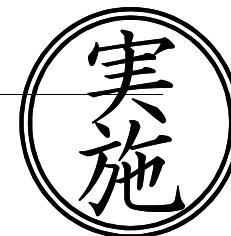
見 積 設 計 書

路 線 名 等

市道湯郷池岩線

工 事 箇 所

宋栗市一宮町安黒地内



宋 栗 市

総括情報表

頁0-0001/0024

単価適用年月日	00-08. 08. 01 (0)		
	今 回		前 回
工種区分 (公共) 施工地域区分 前払区分 契約保証費用 週休 2 日 補正	04 道路改良 35 一般交通影響有り (2) - 2 02 補正なし 1.00 01 計上する 05 対象外		

工事費内訳書

頁0-0002/0024

費目・工種・種別・細目		数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
本工事費							
道路改良							
防護柵工							
防護柵設置工							
車両用防護柵設置							
ガードパイプ設置工 [土中建込] 景観塗装品 Gp-C-3E 路側用							
		15		m			施工 第0 -0001号内訳表
ガードパイプ設置工 [土中建込] 景観塗装品 Gp-C-3E 路側用							
		9		m			施工 第0 -0002号内訳表
転落防止柵設置							
転落防止柵設置工 KPT-1106W同等品以上							
		1		箇所			施工 第0 -0003号内訳表

工事費内訳書

頁0-0003/0024

費目・工種・種別・細目	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
路肩保護工						
路肩保護工						
植生土のう設置						
植生土のう工 :[仕拵]+[積立]						
	144		袋			施工 第0 -0006号内訳表
排水構造物工						
側溝工						
側溝蓋						
側溝蓋敷設工 蓋寸法:995*335*50						
	33		枚			施工 第0 -0007号内訳表
殻運搬						

工事費内訳書

頁0-0004/0024

費目・工種・種別・細目	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
コンクリート殻運搬 無筋コンクリート 人力とりこわし						
	1		m3			施工 第0 -0015号内訳表
殻処分						
処分費 コンクリート殻(無筋) ; 投棄量 1 m3						
	1		式			施工 第0 -0017号内訳表
仮設工						
交通管理工						
交通誘導警備員						
交通誘導警備員 B						
	5		人日			施工 第0 -0018号内訳表
直接工事費計						
共通仮設費計						

工事費内訳書

頁0-0005/0024

費目・工種・種別・細目		数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
共通仮設費率分											
					式						
純工事費計											
現場管理費											
					式						
工事原価計											
一般管理費等											
					式						
工事価格計											
消費税相当額											
					式						
総 計											

施工単価表

施工 第0 -0001号内訳表

頁0-0006/0024

ガートパイ°設置工 [土中建込]

[規格1] 景観塗装品 Gp-C-3E 路側用

[規格2]

[摘要]

1 m 当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
ガートパイ° C-3E 塗装 土中建込 兵庫県指定景観3色		m			
単 位 当 り	1	m			
A ガートパイ°種別(土中建込用)		=11	景観塗装品 Gp-C-3E 路側用		
B 施工規模(S)		=3	20m以上 50m未満		
C 時間的制約(K1)		=1	時間的制約なし		
D 夜間作業補正(K2)		=1	昼間作業		
E 曲線部(K3)		=1	直線部・曲線部(半径30mより大)		
F 加算額区分(B・Cタイプ)		=1	加算なし		

施工単価表

施工 第0 -0002号内訳表

頁0-0007/0024

ガードパイプ設置工 [土中建込]

[規格1] 景観塗装品 Gp-C-3E 路側用

[規格2]

[摘要]

1 m 当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
ガードパイプ C-3E 塗装 土中建込 兵庫県指定景観3色		m			
単 位 当 り	1	m			
A ガードパイプ種別(土中建込用)		=11	景観塗装品 Gp-C-3E 路側用		
B 施工規模(S)		=3	20m以上 50m未満		
C 時間的制約(K1)		=1	時間的制約なし		
D 夜間作業補正(K2)		=1	昼間作業		
E 曲線部(K3)		=2	曲線部(半径30m以下)		
F 加算額区分(B・Cタイプ)		=1	加算なし		

施工 第0 -0003号内訳表

頁0-0008/0024

[規格 1] KPT-1106W同等品以上

[規格 2]

[摘要]

箇所 当り

[illegible]

施工単価表

施工 第0 -0004号内訳表

頁0-0009/0024

横断・転落防止柵設置工 [コンクリート建込]

[規格1] 転落防止柵 (景観塗装)

[規格2]

[摘要]

1 m 当り

名 称 ・ 規 格	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
横断・転落防止柵設置 コンクリート建込 ビーム式・パネル式 支柱間隔3m			m			
転落防止柵 H=1.1m(縦柵) 縦格子型・塗装仕上・Co埋込用 兵庫県指定景観3色			m			
単 位 当 り	1		m			
A 施工区分		=1		設 置		
B 規格・仕様(コンクリート建込用)		=5		景観塗装品 転落防止 KPT-1106W		
C 施工規模(S)		=2		100m未満		
D 時間的制約(K1)		=1		時間的制約なし		
E 夜間作業(K2)		=1		昼間作業		

積算単価算出表

コンクリート削孔(コンクリート穿孔機)

[規格1] 削孔径->77mm以上90mm未満

[規格2] 削孔深さ->200mm以上400mm未満

[摘要]

施工 第0 -0005号内訳表

頁0-0010/0024

1 孔 当り

標準単価	代表機材規格			構成比	基準単価	積算規格	単 価	補 正 構成比	備 考
	K1		コンクリート穿孔機 φ25cm [電動式コアローリングマシン]			コンクリート穿孔機 [電動式コアローリングマシン] [簡易仕様型] φ25cm			
	K2		発動発電機 3kVA [ガソリンエンジン駆動]			発動発電機 ガソリンエンジン駆動 3kVA			
	K								
	R1		特殊作業員			特殊作業員			
	R2		普通作業員			普通作業員			
	R3		土木一般世話役			土木一般世話役			
	R								
	Z1		ダイヤモンドビット φ90.8mm			ダイヤモンドビット 径90.8mm(スタンダード)			
	Z2		ガソリン レギュラー スタンド			レギュラーガソリン スタンド			
	Z								
						計			
積算単価	=								

積算単価算出表

コンクリート削孔(コンクリート穿孔機)

[規格1] 削孔径->77mm以上90mm未満

[規格2] 削孔深さ->200mm以上400mm未満

[摘要]

施工 第0 -0005号内訳表

頁0-0011/0024

1

孔 当り

標準単価	代表機材規格			構成比	基準単価	積算規格	単 価	補 正 構成比	備 考
	A	削孔径	=3		77mm以上90mm未満				
	B	削孔深さ	=2		200mm以上400mm未満				

施工単価表

施工 第0 -0006号内訳表

頁0-0012/0024

植生土のう工

[規格1][仕措]+[積立]

[規格2]

[摘要]

100

袋

当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
購入土 (無規格)	1.5	m3			
普通作業員	3	人			
植生土嚢 種子肥料付、40×60cm	100	枚			
合 計	100	袋			
単 位 当 り	1	袋			

施工単価表

施工 第0 -0007号内訳表

頁0-0013/0024

側溝蓋敷設工

[規格 1] 蓋寸法:995*335*50

[規格 2]

[摘要]

10

枚

当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
台座整形工	10	m			施工 第0-0008号内訳表
蓋版 機械・労務	10	枚			施工 第0-0014号内訳表
U字溝用クレーンク 車道用360用, ノスリップタイプ, 普通目, T-14	10	枚			建設物価、積算資料2誌の平均単価
合 計	10	枚			
単 位 当 り	1	枚			

施工単価表

施工 第0 -0008号内訳表

頁0-0014/0024

台座整形工

[規格1]		[規格2]	[摘要]			10	m	当り
名 称 ・ 規 格		数	量	単 位	単 価	金 額	備 考	
構造物とりこわし工 無筋構造物		0.5		m3			施工 第0-0009号内訳表	
コンクリート削孔(電動ハンマドリル)		40		孔			施工 第0-0010号内訳表	
鉄筋工 異形棒鋼 (SD345) D13mm		0.008		t			施工 第0-0011号内訳表	
コンクリート 小型構造物		0.5		m3			施工 第0-0012号内訳表	
型枠 一般型枠 小型構造物		3.0		m2			施工 第0-0013号内訳表	
合 計		10		m				
単 位 当 り		1		m				

頁0-0015/0024

[規格 1] 無筋構造物

[規格 2]

[摘要]

m3

当り

[illegible]

積算単価算出表

コンクリート削孔(電動ハンマドリル)

[規格1]

[規格2]

[摘要]

施工 第0 -0010号内訳表

頁0-0016/0024

1

孔 当り

標準単価	代表機材規格			構成比	基準単価	積算規格	単 価	補 正 構成比	備 考
	K1		発動発電機 2kVA [ガソリンエンジン駆動]			発動発電機 ガソリンエンジン駆動 2kVA			
	K2		電動ハンマドリル [穴あけ能力 φ38～40mm]			その他 [電動ハンマドリル] φ38mm～40mm			
	K								
	R1		特殊作業員			特殊作業員			
	R2		普通作業員			普通作業員			
	R3		土木一般世話役			土木一般世話役			
	R								
	Z1		ガソリン レギュラー スタンド			レギュラーガソリン スタンド			
	Z								
						計			
積算単価	=								
A	削孔深さ		=1		30mm以上200mm未満				

施工単価表

施工 第0 -0011号内訳表

頁0-0017/0024

鉄筋工

[規格 1] 異形棒鋼 (SD345) D13mm

[規格 2]

[摘要]

1

t

当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
鉄筋加工・組立 一般構造物		t			
異形棒鋼 D13 (SD345)		t			
単 位 当 り	1	t			
A 鉄筋の種類		=6	異形棒鋼 (SD345) D13mm		
B 規格・仕様区分		=1	一般構造物		
C 施工規模 (S)		=2	10t未満		
D 時間的制約を受ける場合の補正 (K1)		=1	時間的制約を受けない		
E 夜間作業補正 (K2)		=1	昼間作業		
F トンネル内作業の補正 (K3)		=1	トンネル内作業以外		
G 法面作業の補正 (K4)		=1	法面作業以外		
H 太径鉄筋補正 (K5～K7)		=1	10%未満		
I 構造物種別による補正 (T1～T5)		=6	差筋及び杭頭処理		

積算単価算出表

コンクリート

[規格1] 小型構造物

[規格2]

[摘要]

施工 第0 -0012号内訳表

頁0-0018/0024

1 m3 当り

標準単価	代表機材規格			構成比	基準単価	積算規格		単 価	補 正 構成比	備 考
	K									
	R1		普通作業員				普通作業員			
	R2		土木一般世話役				土木一般世話役			
	R3		特殊作業員				特殊作業員			
	R									
	Z1		生コンクリート 高炉24-12-25(20) W/C=55%				生コンクリート 18-12-20BB 水セメント比60%以下			
	Z									
							計			
積算単価 =										
A	構造物種別		=2		小型構造物					
B	打設工法		=4		人力打設					
C	コンクリート規格		=10		18-12-20BB[水セメント比 60%以下]					
E	養生工の種類		=2		一般養生					
G	現場内小運搬の有無		=2		無し					

積算単価算出表

型枠

[規格1] 一般型枠

[規格2] 小型構造物

[摘要]

施工 第0 -0013号内訳表

頁0-0019/0024

1 m2 当り

標準単価	代表機材規格			構成比	基準単価	積算規格		単 価	補 正 構成比	備 考
	K									
	R1		型わく工				型わく工			
	R2		普通作業員				普通作業員			
	R3		土木一般世話役				土木一般世話役			
	R									
	Z									
							計			
積算単価	=									
A	型枠の種類			=1	一般型枠					
B	構造物の種類			=2	小型構造物					

施工 第0 -0014号内訳表

頁0-0020/0024

[規格 1]

[規格 2]

[摘要]

1	枚	当り
---	---	----

蓋版 (コンクリート製・鋼製) [昼間]
40kg/枚以下 制約無

施工 第0 -0015号内訳表

頁0-0021/0024

〔規格 1〕無筋コンクリート

[規格 2] 人力とりこわし

[摘要]

1	m3	当り
---	----	----

土砂等運搬 土質→土砂(岩塊・玉石混り土含む)	1	m3			施工 第0-0016号内訳表
----------------------------	---	----	--	--	----------------

単位当り

1

m3

積算単価算出表

土砂等運搬

[規格1] 土質->土砂(岩塊・玉石混り土含む)

[規格2]

[摘要]

施工 第0 -0016号内訳表

頁0-0022/0024

1 m3 当り

標準単価	代表機材規格			構成比	基準単価	積算規格	単 価	補 正 構成比	備 考
	K1		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級(タイヤ損耗費及び補修費(良好)含む)			ダンプトラック 2t積級[オンロード・ディーゼル] タイヤ損耗費及び補修費(良好)含む			
	K								
	R1		運転手(一般)			運転手(一般)			
	R								
	Z1		軽油 パトロール給油			軽油 パトロール給油			
	Z								
						計			
	積算単価 =								
	A	土砂等発生現場	=3		現場制約あり				
	B	積込機種・規格	=7		人力				
	C	土質	=1		土砂(岩塊・玉石混り土含む)				
	D	DID区間の有無	=1		無し				
	G	運搬距離3	=10		4.0km以下				

頁0-0023/0024

当り

25/39

施工 第0 -0018号内訳表

頁0-0024/0024

[規格 1]

[規格 2]

[摘要]

人目

当り

交通誘導警備員 B

数

量

單

儻

金額	
1	100
2	200
3	300
4	400
5	500
6	600
7	700
8	800
9	900
10	1000
11	1100
12	1200
13	1300
14	1400
15	1500
16	1600
17	1700
18	1800
19	1900
20	2000
21	2100
22	2200
23	2300
24	2400
25	2500
26	2600
27	2700
28	2800
29	2900
30	3000
31	3100
32	3200
33	3300
34	3400
35	3500
36	3600
37	3700
38	3800
39	3900
40	4000
41	4100
42	4200
43	4300
44	4400
45	4500
46	4600
47	4700
48	4800
49	4900
50	5000
51	5100
52	5200
53	5300
54	5400
55	5500
56	5600
57	5700
58	5800
59	5900
60	6000
61	6100
62	6200
63	6300
64	6400
65	6500
66	6600
67	6700
68	6800
69	6900
70	7000
71	7100
72	7200
73	7300
74	7400
75	7500
76	7600
77	7700
78	7800
79	7900
80	8000
81	8100
82	8200
83	8300
84	8400
85	8500
86	8600
87	8700
88	8800
89	8900
90	9000
91	9100
92	9200
93	9300
94	9400
95	9500
96	9600
97	9700
98	9800
99	9900
100	10000

備

考

単位当り

1

人目

A	交通誘導警備員区分
B	労務費調整係数

	$=2$
	$=1$

交通誘導警備員 B
労務費調整係数

数量総括表

工 事 名		市道湯郷池岩線交通安全対策工事					当初
工種	種別	名 称	規格	算 式	数 量	単 位	摘 要
	細別						
本工事費							
道路改良							
防護柵工							
防護柵設置工							
車両用防護柵設置							
		ガードパイプ設置工 [土中建込]	Gp-C-3E 直線部	15.0	15	m	
		ガードパイプ設置工 [土中建込]	Gp-C-3E 曲線部	9.0	9	m	
転落防止柵設置							
		転落防止柵設置工 [コンクリート建込]	KPT-1106W同等品以上	1.0	1	箇所	L=7.7m
路肩保護工							
路肩保護工							
植生土のう設置							
		植生土のう工		144.0	144	袋	
排水構造物工							
側溝工							
側溝蓋							

数量総括表

工 事 名		市道湯郷池岩線交通安全対策工事					当初
工種	種別	名 称	規格	算 式	数 量	単 位	摘 要
	細別						
		側溝蓋敷設工	U字溝用グレーチング 車道用360用、ハスリップタイプ、普通目、T-14	33.0	33	枚	
	殻運搬						
		殻運搬	コンクリート殻 現場制約あり	0.5 × 3.3 = 1.65	1	m3	L=3.4km
	殻処分						
		処分費	コンクリート(無筋)	1.0	1.0	式	V=1m3
仮設工							
	交通管理工						
	交通誘導員						
		交通誘導員B		5.0	5	人日	

道路付属施設工・排水構造物工・路肩保護工

[illegible]

特記仕様書

工 事 名 市道湯郷池岩線交通安全対策工事

工事場所 宍粟市一宮町安黒 地内

工 期 令和9年1月29日限り

第1条 適用

本工事の施工にあたっては設計図書によるほか、以下の図書及び本特記仕様書によるものとする。

土木工事共通仕様書（兵庫県土木部）〔平成29年12月〕（最新改訂版）

土木請負工事必携（兵庫県土木部）〔平成29年12月〕（最新改訂版）

土木工事施工管理基準（兵庫県土木部）〔平成29年12月〕（最新改訂版）

小型構造物標準図集（兵庫県土木部）〔平成25年10月〕（最新改訂版）

第2条 一般事項

1. 受注者は施工に先立ち、事前に設計図書の照査を行うものとし、現地との整合性を確認し、疑義が生じた場合は、確認できる資料を書面により提出し、監督員と協議の上処理するものとする。
2. 受注者は施工に先立ち、監督員と立会いの上、BM、工事の起終点、官民境界等を確認しなければならない。また、発注者より貸与する測量成果簿により再測量を行うものとし、その成果を監督員に報告するものとする。

第3条 隣接工事との調整

1. 樹木伐採搬出作業（民間工事）
2. 本工事受注後、直ちに上記工事業者と工程調整及び現場調整のため、工程会議を行う。その後、施工計画・実施工程表を作成し監督員の承諾を得ること。

第4条 地元への対応

1. 受注者は本工事を施工するにあたり、事前に安黒自治会及び鳴田自治会の両自治会長等の関係者に挨拶（報告）すること。
2. （工事用地区域外への対応）
工事施工箇所、資材置き場、資材運搬路等に隣接する土地所有者とトラブルのないよう現地立会し、十分協議すること。また、工事用地以外の区域へ立入りする場合及び草木等の伐採を必要とする場合には、必ず所有者の承諾を得るものとする。（民地を掘削しなければならない時は、官民境界を監督員及び土地所有者と立会確認し、控杭等を設置し保有する。）

第5条 環境対策

1. （排出ガス対策型建設機械）
本工事において、排出ガス対策型建設機械指定要領に基づき指定された排出ガス対策型建設機械を使用するものとし、施工計画書に証明書を添付し提出すること。
2. （公害対策）
 - ① 工事施工により発生する公害は、環境基準を厳守し万全の対策・処置を講じること。
 - ② 本工事箇所は、低騒音・低振動型機械を使用することとし、作業の実施にかかる事前の届出と規制基準の遵守を義務づけられているので、作業開始7日前までに届けるとともに、その写しを1部提出すること。
 - ③ 騒音及び振動、濁水について、工事施工前及び工事施工中において、監督員と協議の上必要に応じて観測を行うものとし、工事により悪化した場合、速やかに対応を行うこととする。なお、前述の観測地点、回数等については監督員と協議のうえ決定するものとし、これに要する費用については、受注者の負担とする。
 - ④ 土砂掘削等による汚水、塵埃、騒音、振動及び路面の汚損には細心の注意を図ること。万一地元及び第三者から苦情があった場合は、受注者で責任を持って処理すること。

第6条 工事中の安全確保

1. (工法変更等への対応)

構造物等の施工に於いて湧水、その他の障害のため通常の工法では初期の目的を達することが出来ない場合、または関係機関と協議の結果、新たな作業及び構造の変更が生じた場合は、対策工法を監督員と協議するものとし、設計変更の対象とする。

2. (掘削部の安全施工)

土石崩落等危険と判断される時及び床堀法面において、関係機関との打合せ等により、危険防止のための安全対策等が必要となった場合は、監督員と協議するものとし設計変更の対象とする。

3. (安全・訓練等の実施)

安全・訓練等の実施については、土木工事共通仕様書第1編を参照のこと。また、実施状況をビデオまたは工事報告書(工事旬報)に記録し報告するほか、写真等も整理のうえ提出すること。(尚、これらに要する経費については、現場管理費率に含む。)

第7条 交通安全管理

1. (道路使用願等)

工事の施工に当たっては、一般通行等に及ぼす影響を最小限になるように施工計画を立案し、監督員と協議すると共に、「道路使用許可願」を所轄警察に提出し、その許可を得るとともに許可証の写しを監督員に提出すること。また、関係機関との協議を発注者と共に行い、必要な安全対策を講じること。

2. (安全施設類)

標識類、防護柵等の安全施設類については、現場条件に応じて設置する他、道路管理者及び所轄警察署と打合わせを行い実施するものとする。なお、打合わせの結果又は条件変更等に伴い、道路工事現場における標示施設等の設置基準(土木請負工事必携 11)以上の保安施設類が必要な場合、監督員と協議するものとし、設計変更の対象とする。

3. (交通誘導員の有資格)

① 本工事に配置する交通誘導員は、警備員等の検定等に関する規則(平成 17 年 11 月 18 日国家公安委員会規則第 20 号)等に基づき、交通誘導警備検定合格者(1 級又は 2 級)を規制箇所毎に 1 名以上配置することとする。

② 受注者は、配置した交通誘導警備検定合格者の検定合格証(写し)を監督員に提出するものとする。

4. (交通誘導員の配置)

交通誘導員については、下表のとおり計上しているが、道路管理者及び所轄警察署の打合せの結果又は、条件変更等に伴い員数に増減が生じた場合は、設計図書に関して監督員と協議するものとし、設計変更の対象とする。

配 置 場 所	交通誘導員	編 成	昼夜別	交替要員の有無
工事施工箇所	1 名/日	交通誘導員 B 1 名	昼間	無

なお、交通誘導員 A、B の定義は次のとおり。

交通誘導員 A：警備業者の警備員(警備業法第 2 条第 4 項に規定する警備員をいう。)で、交通誘導警備業務(警備員等の検定等に関する規則第 1 条第 4 号に規定する交通誘導警備業務をいう。)

に従事する交通誘導警備業務に係る 1 級検定合格警備員又は 2 級検定合格警備員

交通誘導員 B：警備業者の警備員で、交通誘導員 A 以外の交通の誘導に従事するもの

5. (過積載による違法運行の防止について)

過積載による違法運行防止対策として次の事項を遵守すること。

① 積載荷重制限を超えて土砂を積み込まない。

② 過積載を行っている業者から、資材を購入しない。

③ 不正改造運搬車(さし枠装着、違法物品積載装置)を一切使用してはならない。また、工事現場への出入もさせてはならない。

第8条 建設廃材等の処分

1. 「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に定める廃棄物は、同法に準拠した適切な方法により処分すること。

2. 産業廃棄物の処分にあたっては、同法の許可を持った産業廃棄物処理業者において処分すること。
3. 特定建設資材廃棄物を処分する場合（特定建設資材の分別解体等・再資源化等）

特定建設資材の分別解体等・再資源化等については、以下の①と②の積算条件を設定している。

① 分別解体等の方法

工 程 ご と の 作 業 内 容 及 び 解 体 方 法	工 程	作 業 内 容	分別解体等の方法
	①仮設	仮設工事 ☐ 有 ☐ 無	☐ 手作業 ☐ 手作業・機械作業の併用
	②土工	土工事 ☐ 有 ☐ 無	☐ 手作業 ☐ 手作業・機械作業の併用
	③基礎	基礎工事 ☐ 有 ☐ 無	☐ 手作業 ☐ 手作業・機械作業の併用
	④本体構造	本体構造の工事 ☒ 有 ☐ 無	☐ 手作業 ☒ 手作業・機械作業の併用
	⑤本体付属品	本体付属品の工事 ☐ 有 ☐ 無	☐ 手作業 ☐ 手作業・機械作業の併用
	⑥その他 ()	その他の工事 ☐ 有 ☐ 無	☐ 手作業 ☐ 手作業・機械作業の併用

上記①の「分別解体等の方法」の欄については、該当がない場合は記載の必要はない。

②再資源化等をする施設の名称及び所在地

特定建設資材 廃棄物の種類	施設の名称	運搬距離	所 在 地	受入等諸条件	その他
コンクリート塊	(株)岸本建材運輸	3. 4km	宍粟市一宮町 東市場 389 番 地 1	兵庫県土木部の「建設 副産物の処理ならびに 受入価格」に掲載され る当該施設の受入条件 を遵守すること	監督員の指 示による

上表②については、積算参考条件を明示しているものであり受入施設を指定するものではない。受注者は、県登録施設から搬出先施設を選定し、共通仕様書に基づき施工計画書に記載して監督員に提出しなければならない。なお、受注者が選定した施設が、積算条件と異なる場合においても設計変更は行わない。ただし、上表の施設が工事発注後に県登録施設から登録抹消されるなど、受入困難となった場合は、設計変更を行う。

4. 建設リサイクル法等に基づく手続き

受注者は、契約締結までに建設リサイクル法第 12 条に基づき、必要事項を所定の書面に記載し提出すること。また、工事が完了したときは、建設リサイクル法第 18 条に基づき、以下の事項を書面に記載し、提出するものとする。

- ・再資源化等が完了した年月日
- ・再資源化等をした施設の名称及び所在地
- ・再資源化等に要した費用

併せて、再生資源利用計画書（実施書）及び再生資源利用促進計画書（実施書）を提出するものとする。

また、受注者は、法令等に基づき、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を工事現場の公衆が見やすい場所に掲げなければならない。掲示様式は県 HP に掲載の様式もしくは、建設副産物情報交換システムで出力される様式を使用すること。

5. マニフェストシステムについて

この工事で排出される建設廃棄物を現場外に搬出して処理（再資源化施設、積み替え保管場所経由で最終処分）する場合、産業廃棄物管理票（マニフェスト票）を使用し、受注者の責において 5 年間保存すること。産業廃棄物管理票（マニフェスト票）D・E 票及び計量伝票を検査時に提示し、様式 25 の産業廃棄物管理票交付状況総括表は提出することとする。（設計計上量を最大値として、上記検収数量を算出数量として、変更の対象とする。）

6. 受注者が直接（法律に基づく許可地でない土地）処分地に投棄した処分量は、投棄量算出量としない。

7. 建設副産物の運搬を廃棄物処理業者に委託する場合には、必ず書面による委託契約を締結する。また、運搬及び

処分を業とする許可書を、委託契約の写し及び処理業者の所在地と運搬ルートとともに施工計画書に添付すること。

8. 受注者は建設資材廃棄物の産業廃棄物処分業者への引渡しが完了したときは、「産業廃棄物等の不適正な処理の防止に関する条例」(平成15年3月17日兵庫県条例第23号)第16条の3に基づき、建設資材廃棄物引渡完了報告を監督員に提出すること。(工作物等解体工事は請負代金500万円以上、建築物解体工事は延床面積80㎡以上)

第9条 特定外来生物の駆除について

1. 工事着手前に工事区域内において、以下に示す特定外来生物が生育していないか現地踏査を行い、特定外来生物の生育の有無を、監督員に報告すること。なお、下記に記載の特定外来生物の生育が確認された場合は、別途、施工計画書にその処分、運搬方法等について記載すること。

・特定外来生物の種類：

アルゼンチナ・フィロセロゲス(カヅツルノゲイトウ)、ヒステア・ストレイテス(ホタンウキサ)、アゾル・クリスタ、コレオプシス・ランコラタ(オキクダマ)、ギムノコリス・スプラントイテス(ミズヒマワリ)、ルトベギア・ラキエタ(オハコソウ)、セネオ・マダガスカリエンシス(ナルササギ)、スギョオス・アンガラトウス(アルカリ)、ミリオフォルム・アクティクム(オオサモ)、ルトウイギア・グランディフロラ(オハナミズキンバイ等)、ウエロニカ・アカルリスアクティカ(オカラヂシヤ)、の植物11種

(詳細については、下記の環境省ホームページ

URL：<https://www.env.go.jp/nature/intro/2outline/list.html> を参照)

2. 確認された特定外来生物の防除を行う場合、別紙防除実施計画書に基づいて個体を採取し、処分しなければならない。
3. 特定外来生物の防除完了後、防除記録台帳を作成し、監督員に提出すること。
4. 特定外来生物を含む残土については、極力、現場内にて処分するよう努めること。

第10条 法定外の労災保険の付保

本工事において、受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。

第11条 施工管理

1. 受注者は、本工事に関する施工管理担当者を定め、その氏名を書面で発注者に通知しなければならない。施工管理担当者を変更したときも同様とする。
2. 主任技術者(監理技術者)及び専門技術者は、前項の施工管理担当者を兼ねる事が出来る。
3. 施工管理担当者は、土木工事施工管理基準及び規格値、同運用方針により、施工管理を実施しなければならない。また、工事の進捗に伴い、必要な事項が生じた場合には追加することがある。
4. 施工管理のうち、品質および出来形管理については、管理基準および規格値、同運用方針に基づいて試験や測量を実施するとともに、そのデータを用いて管理図等(管理図またはデータの集計表)を作成し、提出すること。(データのみの提出はしないこと)

第12条 写真管理

1. 写真管理については、土木工事施工管理基準の写真管理基準により撮影、整理すること。
黒板・スタッフ・ポール等をあて工種、測点ごとに明確に撮影し、分り易く整理して提出すること。
2. 写真はカラーL版(89×127mm)とする。ただし、着工前及び完成写真等は、キャビネ版(127×178mm)またはパノラマ写真(つなぎ写真可)とし、それぞれ対比して撮影すること。
3. 完成写真には測点及び起終点方向を明示すること。

第13条 品質規格

1. 本工事に使用する材料の品質規格は、共通仕様書及び「小型構造物標準図集」によるものとする。
2. (コンクリート管理)
 - ① コンクリート中の塩化物量の総量規制、アルカリ骨材反応抑制対策については、指示する重要構造物について、コンクリート中の塩化物総量規制及びアルカリ骨材反応抑制対策実施要領に基づき、コンクリート打設前に試験を実施し規格値を満足することを確認のうえ打設すること。(請負必携21参照)

コンクリートの強度管理については、標準養生した供試体で強度試験を行うものとする。

第14条 一般施工

1. (準備工)

伐開、除根及び段切工等の準備工については、共通仮設費の中に含まれるので、土木工事共通仕様書に則って実施すること。また、除根材については建設廃棄物の対象となるため、監督員と協議の上、適正に処分するものとする。

2. (とりこわし工)

コンクリート構造物及びアスファルト舗装版を取り壊した時は、速やかに取壊し数量及び根拠となる図面を監督員に提出しなければならない。

第15条 詳細図等の作成

取り合い、現地再測量による数量等の変更、構造物の変更および追加による図面は、監督員と協議の上、受注者が全て作成すること。(設計変更に使用できる図面と数量を提出すること。)

第16条 工事標示板等

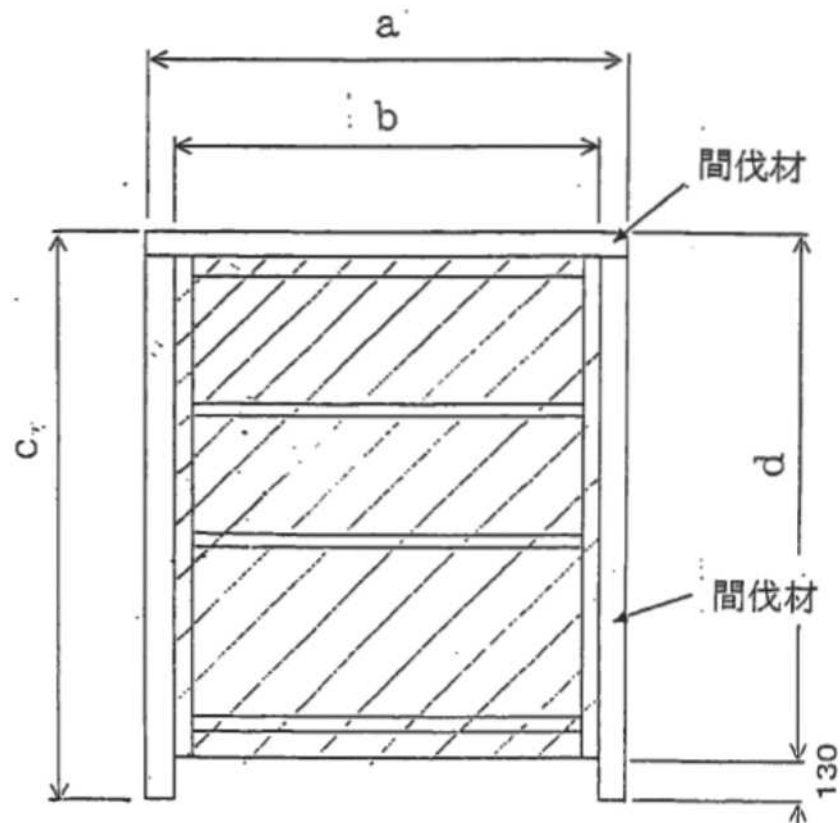
1. 受注者は、工事看板に宍粟産間伐材を使用すること。また、宍粟市のマスコットキャラクター「しーたん」を工事看板に表示し、工事現場に設置すること。(看板①)
2. その他の標示板〔お願い看板、まわり道、誘導標示板等〕にあっても積極的に宍粟産間伐材を使用すること。

第17条 その他施工関係

1. 本工事設計書の種別欄の記号は、別冊小型構造物図集に掲載の形式を表示している。
名称、単位、数量、構造物を省略かつ代表断面により発注しているので、受注者は施工にあたり位置・形状・寸法等に誤りの無いようにしなければならない。
2. 受注者は、縦断面図等のない場合でも、縦断勾配の配慮を要する構造物については、特にその目的及び機能を果たす施工をしなければならない。
3. 受注者は、軽微な取り合わせ等、現場の納めについては、図示されていないものであっても施工するものとする。
4. 監督員と協議・打合せした内容については、書類にて監督員に提出するものとする。
5. 本工事の施工にあたり河川への影響がある場合は、事前に関係者と調整を図ること。
6. 広範囲に住民等に周知する工事及び交通量が多い工事においては、看板②を見やすい場所に設置するとともに看板③を起終点に設置を行うこと。
7. 本特記仕様書に疑義が生じた場合は、速やかに監督員と協議すること。

工事看板 参考図

【看板①】



※間伐材（杉・檜・松）

（例）

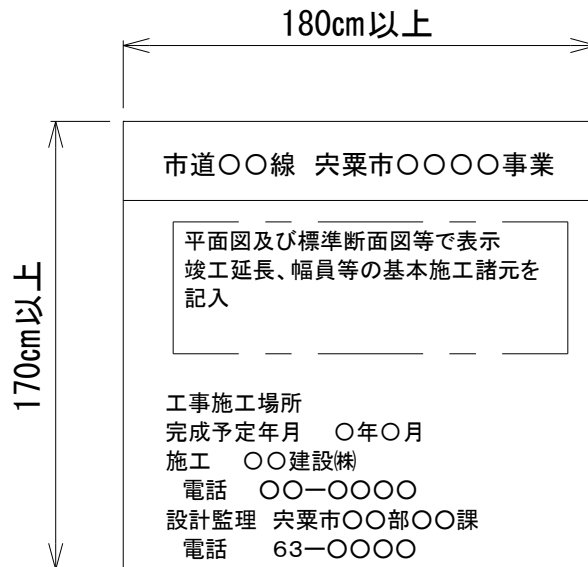


※図柄と文字のバランスは、上図を参考とする。

※下地は、白色とする。

【看板②】

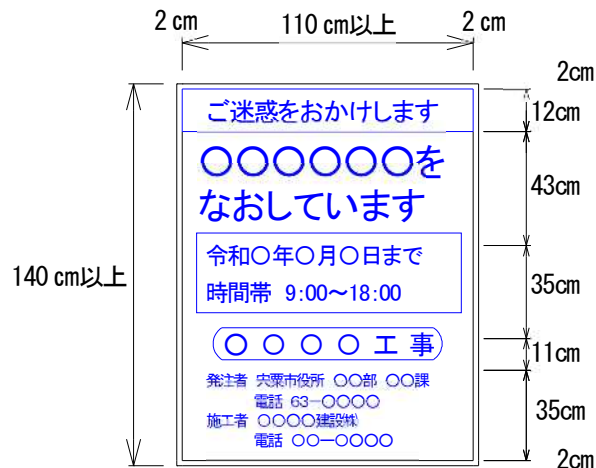
＜工事標示板を明記する工事看板例＞



(注)(1) 看板設置箇所を決定し、平面図の方向が現場の方向と合うよう調整する。

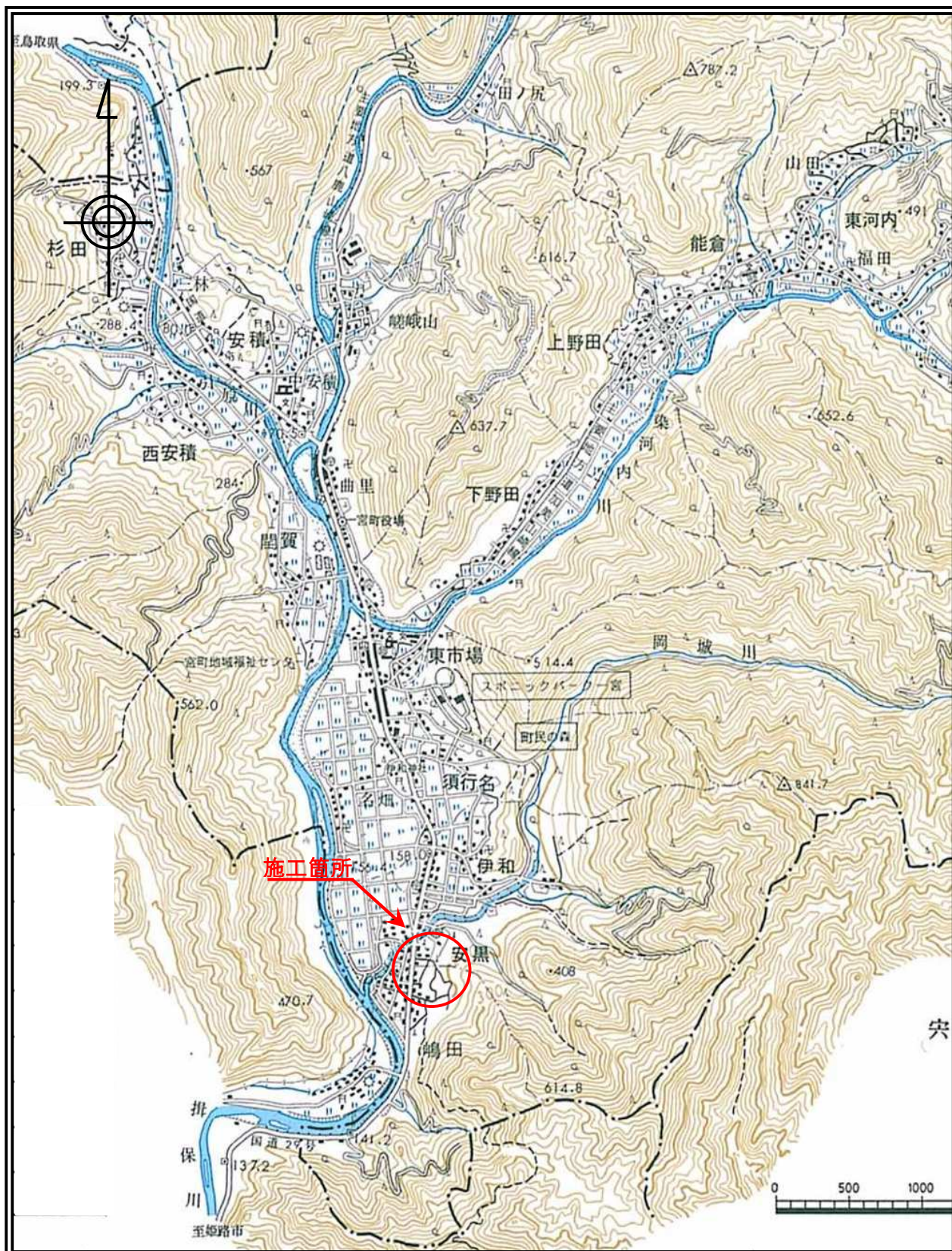
【看板③】

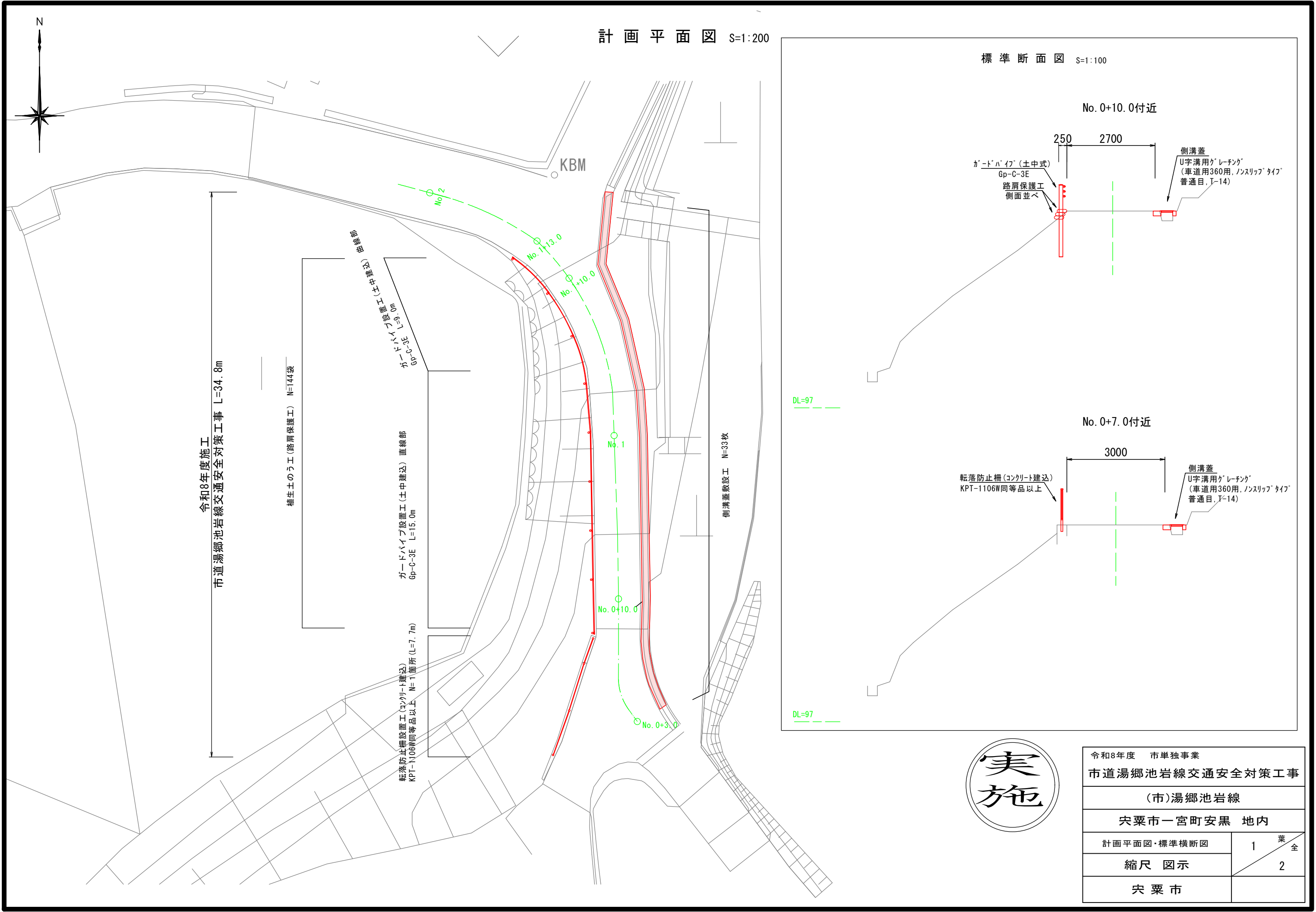
＜工事標示板を明記する工事看板例＞



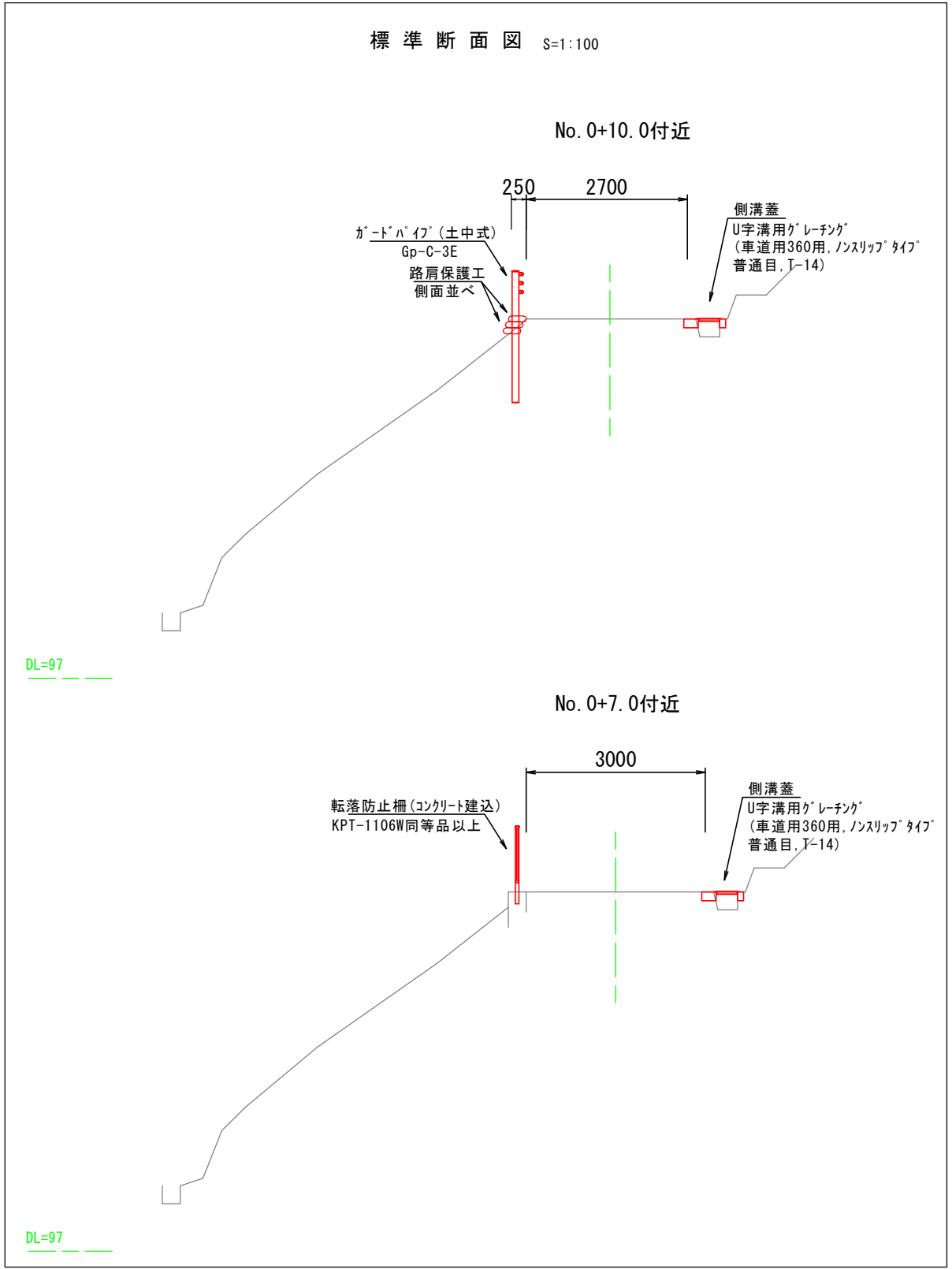
- (注)(1) 色彩は、「ご迷惑をおかけします」等の挨拶文、「舗装修繕工事」等の工事種別については青地に白抜き文字とし、「〇〇〇〇をなおしています」等の工事内容、工事期間については青色文字、その他の文字及び線は黒色、下地を白色とする。
- (2) 縁の余白は 2cm、縁線の太さは 1cm、区画線の太さは 0.5cm とする。

位置図



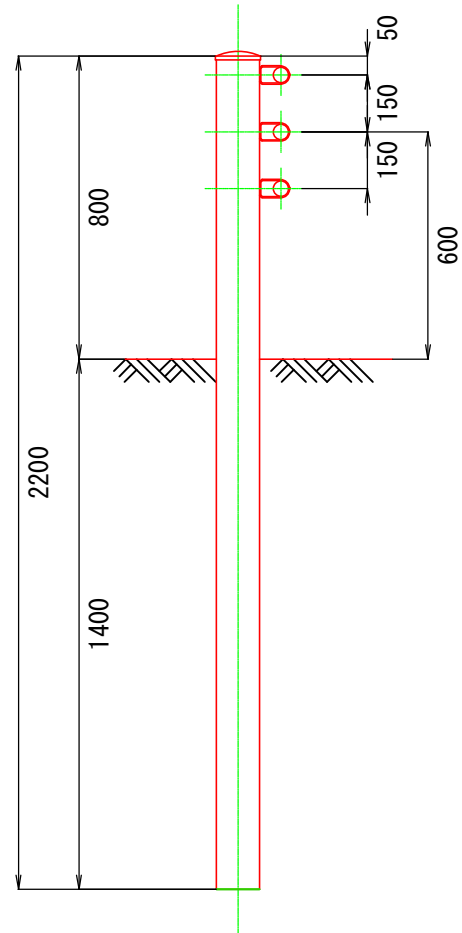


令和8年度 市単独事業	
市道湯郷池岩線交通安全対策工事	
(市)湯郷池岩線	
宍粟市一宮町安黒 地内	
計画平面図・標準横断面図	1 業全
縮尺 図示	2
宍 粟 市	

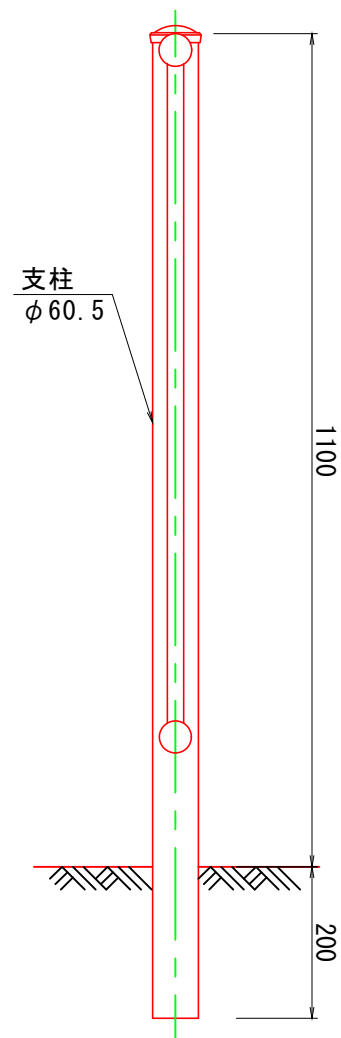


構造図

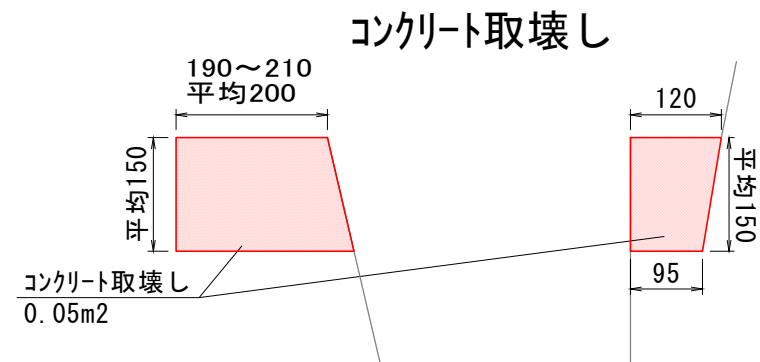
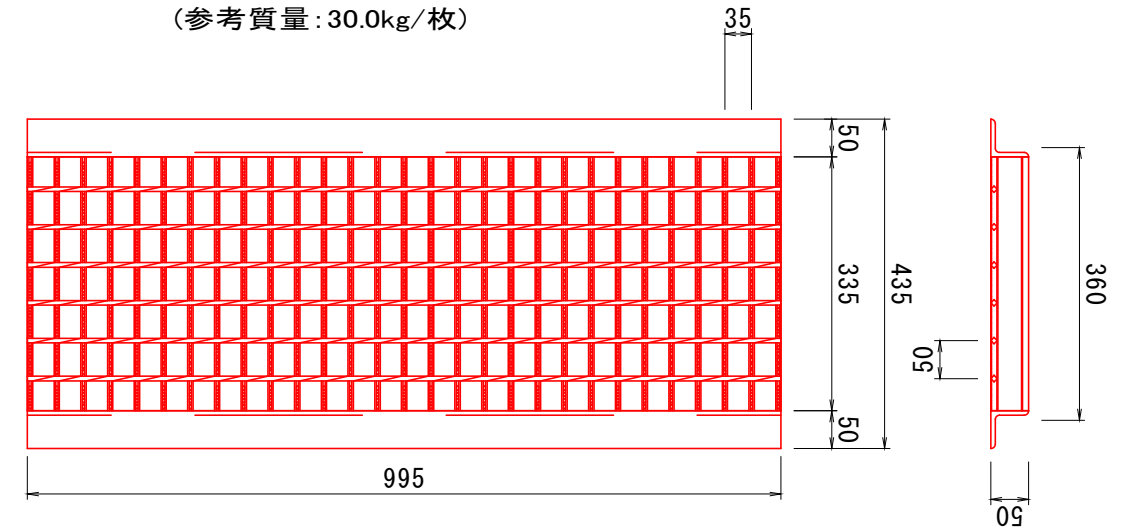
ガードパイプ（土中式）S=1/20
Gp-C-3E（塗装色：ダークブラウン）



転落防止柵（参考図）S=1/10
KPT-1106W同等品以上
（塗装色：ダークブラウン）

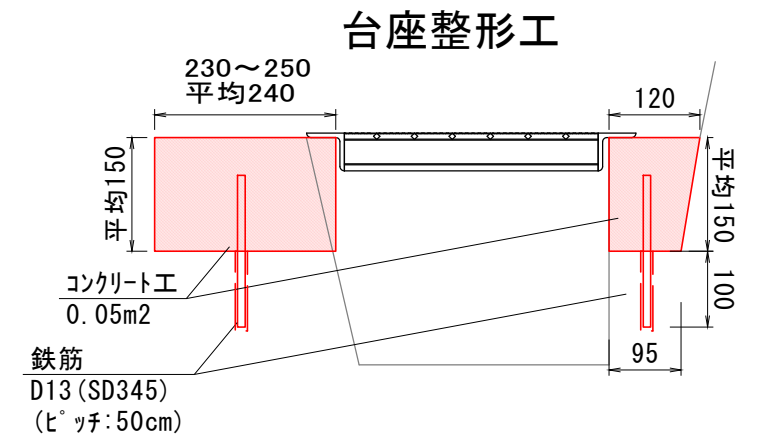


側溝蓋（参考図）S=1/10
U字溝用グレーチング
（車道用360用、ノンスリップタイプ、普通目、T-14）
（参考質量：30.0kg/枚）



側溝蓋敷設工
10枚当たり単位数量

名称	計算式	数量
台座整形工		10 m
鋼製グレーチング		10 枚



台座整形工
10m当たり単位数量

名称	計算式	数量
コンクリート取壊し	0.05 × 10.0	0.5 m3
コンクリート削孔		40 孔
鉄筋(200mm/本)	参考質量：0.995kg/m	40 本
	0.995*0.2*40/1000	0.008 t
コンクリート工	0.05 × 10.0	0.5 m3
型枠工	(0.15+0.15) × 10.0	3.0 m2



令和8年度 市単独事業	
市道湯郷池岩線交通安全対策工事	
(市)湯郷池岩線	
宍粟市一宮町安黒 地内	
構造図	2 業全
縮尺 図示	2
宍粟市	